

2022年11月29日
SCSK株式会社

意思決定を迅速にするデータ活用基盤サービスの提供開始 ～「Add-Value for Insight」で、データ活用の民主化を支援～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、SAP S/4HANA®を中核に社内外のあらゆるデータを速やかに統合するデータ活用基盤「Add-Value for Insight(アドバリュー フォー インサイト)」を2022年12月より提供開始します。経営層から工場や営業といった現場の従業員まで、誰もがタイムリーにデータを活用する「データドリブン経営」の実現を支援します。

1. 背景

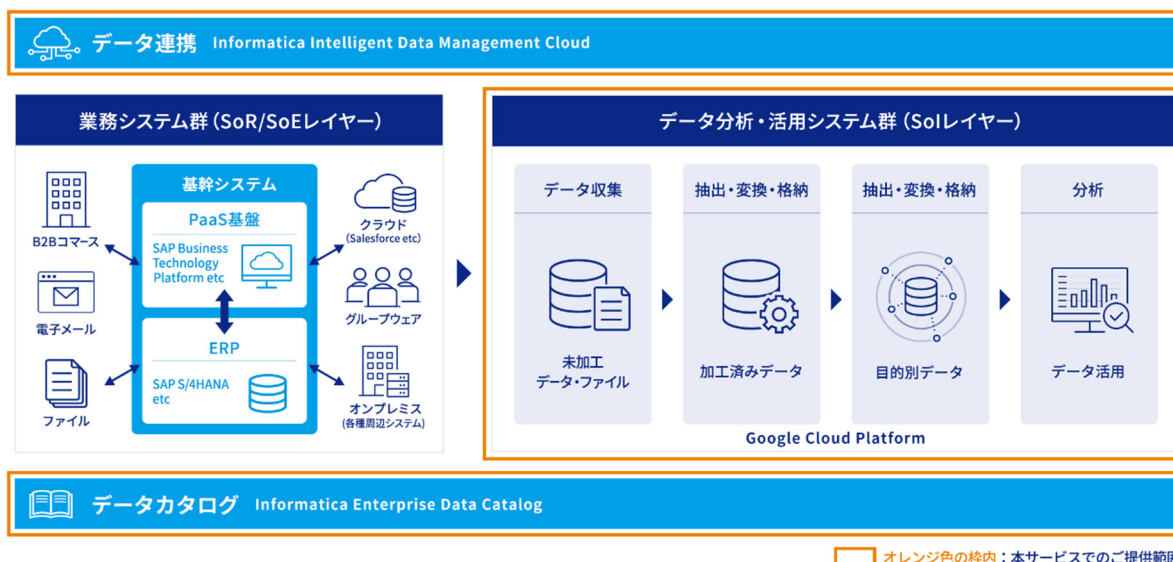
デジタルトランスフォーメーション(DX)の重要性が広く認識されるようになり、データ活用に取り組む企業が増えています。しかし実際には、思うようにデータを活用できている企業は一握りというのが現状です。その大きな要因のひとつとして、事業/組織ごとにシステムや業務が縦割りで、データも分断されているシステムの「サイロ化」が挙げられます。これにより、データの収集や加工に多大な時間を要してタイムリーな分析ができない、データの鮮度が低下するといった状況が生じています。この課題を解消するため、SCSKはクラウドネイティブですべてのプラットフォームに対応したインフォマティカ・ジャパン株式会社(以下 インフォマティカ)のデータ管理ソリューションと高い安定性とスケーラビリティを確保する Google Cloud を組み合わせたデータ統合プラットフォームの提供を開始します。

2. 「Add-Value for Insight」の概要

「Add-Value for Insight」は、SAP S/4HANA を中心とする基幹システム「SoR(Systems of Record)」と、CRMなどの顧客接点を担うシステム「SoE(Systems of Engagement)」のデータをシームレスに連携・統合して、「インサイト(洞察)」を得るための分析活動を支援するデータ活用基盤「SoI(Systems of Insight)」です。

さまざまな形式のデータを収集・抽出・変換・格納し、それらのデータをカタログ化します。社内に散在するすべてのデータを一元管理することで、データのサイロ化を解消し、データの収集と加工に要する時間を短縮し、全社横断的にどこからでも容易にほしいデータを発見し、分析・活用することが可能となります。

【Add-Value for Insight サービス構成】



SAP S/4HANA や周辺システムからデータマネジメントプラットフォーム「Informatica Intelligent Data Management Cloud (IDMC)」によりデータを収集し、Google Cloud に蓄積します。インフォマティカのデータカタログでデータを管理します。

・Add-Value for Insight: <https://www.scsk.jp/sp/sap/add-value/insight/>

3. 「Add-Value for Insight」の特長

●データ活用基盤を短期間・低コストで構築

インフォマティカのデータ マネジメント・ソリューションと Google Cloud のサービスを検証済みモデルとしてテンプレート化しているため、一から環境構築・検証をする必要がなく、データ活用基盤を短期間・低コストで構築できます。

クラウド基盤は、高い安定性とスケーラビリティを確保したシームレスなデータプラットフォームを提供する Google Cloud を採用。データウェアハウスや SAP データ活用テンプレートなど多種多様なデータの活用を支援するサービスを豊富に揃えており、SAP の複雑な構造データを扱いやすい形式に変換し、データ分析での活用を容易にします。

●データの収集と加工に要する時間を短縮

SAP S/4HANA をはじめとして多種多様なシステムに接続することが可能なインフォマティカのコネクタを備えているため、社内外のさまざまなデータを迅速に収集・抽出・変換・格納します。これにより、データの収集と加工に要する時間を大幅に短縮します。新たに導入するシステムにもいち早く対応することが可能です。

●目的のデータを素早く発見

蓄積したデータは、インフォマティカのデータカタログを使ってデータの所在や意味からデータを見つけやすい状態にすることで、目的のデータを探索する時間を大幅に削減します。また、データ項目レベルでシステムを横断するデータの流れを追跡することで、データの所在を確認することも可能です。

●データの品質・傾向を把握

データの品質・傾向を把握し、すぐに活用できるデータか確認することも可能です。これにより、分析に利用したいデータの発見が加速され、データの鮮度が高いままタイムリーに活用していくことが可能となります。

4. 提供開始日

2022年12月

5. 提供価格

個別見積りとなります。

※お客様のニーズや既存環境に合わせ最適なお提案をします。詳細はお問い合わせください。

6. 売上目標

今後一年間で4~5社、2025年度までに10~15社への導入を目指します。

Add-Valueについて

「Add-Value」シリーズは、SAP社のERP製品「SAP S/4HANA」の効率的な導入を支援するトータルサービス。商社や組立製造業に特化した導入テンプレートや、導入前の適合性検証サービス、SAP ERP6.0からSAP S/4HANAへの移行支援サービスをラインアップする。導入後の保守・運用サポートもワンストップで提供可能。

・Add-Value: <https://www.scsk.jp/sp/sap/add-value/>

インフォマティカ・ジャパン株式会社からのエンドースメント

インフォマティカ・ジャパン株式会社は、SCSK様が「Add-Value for Insight」を提供開始されることを心より歓迎いたします。企業におけるDXの重要性が高まる中、マルチクラウド・ハイブリッドクラウドにまたがるさまざまなデータソースを扱うことでデータの複雑性や断片化が生じており、それらを一元的に管理するデータプラットフォームを構築することが必要不可欠です。メタデータ駆動型AIエンジン「CLAIRE」を搭載した業界初のクラウドネイティブ・クラウドファーストなデータマネジメントプラットフォーム「Intelligent Data Management Cloud (IDMC)」では、毎月44兆件以上のトランザクションを処理しており、いかなるクラウド環境においても、企業内のあらゆるユーザーがデータを管理・活用できるよう支援しています。この度、インフォマティカの最上位パートナー「Platinum Partner」であり「Informatica Partner of the Year 2021」受賞者であるSCSK様が、インフォマティカのIDMCプラットフォームとデータサービス群をソリューションに加えることで、企業の基幹システムにおけるDXをさらに推進し、両社のお客様のビジネス価値創造にますます貢献されることを確信しています。

インフォマティカ・ジャパン株式会社 代表取締役社長 渡邊 俊一

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社からのエンドースメント

SCSK 株式会社に Add-Value for Insight の基盤に Google Cloud を採用いただいたことを嬉しく思います。Google Cloud は、最もオープンで、拡張性が高く、強力なクラウドを提供しています。Google Cloud を活用した Add-Value for Insight により、社内外のさまざまなデータや SAP の複雑な構造のデータが迅速に変換および活用できることで、多くのお客様のビジネスがより成長することを期待しています。

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 上級執行役員 パートナー事業本部 石積尚幸

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ

AMO 事業本部 エンタープライズソリューション営業部

E-mail: informatica-info@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 栗岡

TEL:03-5166-2169

※ Google Cloud は Google LLC の商標です。

※ SAP、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。